

九州教区『性差別を考える日』について



日常の何気ない言葉や行動で、不快な思いをさせてたなんて・・・

性差別っていうけど・・・どういうこと?

性差別はとても身近なところで、しかも無意識のうちに起こっています。

九州教区では1994年から毎年1月第4主日を「女性の日」として定めてきました。その後、当教区で牧師によるセクシュアル・ハラスメントが起これ、教会の性差別体質を改善する取り組みが始まりました。2012年度からは「女性の日」を「性差別を考える日」と改め、今日にいたっています。



～さらに深めるために～

あなたの中の“無意識の思い込みや偏見”を探ってみませんか？

みなさんそれぞれチェックしてみましょう。

教会におけるジェンダーバイアスチェック

- * 会場設営など力仕事は男性、花を飾ったりは女性が良いと思う。
- * 来客時にお茶を出したり花束を贈呈するのは、女性の方が良いと思う。
- * 女性の役員が少ないのは、女性にやる気がないからだと思う。
- * 役員（執事）は責任が重いので、男性にやってもらう方がよいと思う。
- * プレゼントは女子にはピンクの可愛いもの、男子には青や黒のかっこいいものを選ぶ。
- * 夫妻で牧師の場合、主任担任は男性の方がふさわしいと思う。
- * 未婚の人に「結婚しないの？」と聞いたり、結婚したばかりの女性に「早くお子さんできるといいね」と言うことがある。

デザイン：吉田咲雪

ジェンダーバイアスとは

男女の役割に固定的な観念を持つことや、
そのために社会的な評価や扱いが差別的になることを指す言葉

📌 ジェンダーバイアスの具体例 📌

01 色や形によるイメージ



02 言葉による固定観念



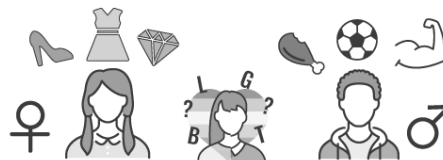
03 学校の授業や職場での分担



04 能力差があるとする決めつけ



05 複数の性的アイデンティティーへの偏見



自分のジェンダー・バイアスに気付かずにいると、相手を傷つけたり、
仕事や進路の選択を狭めるなど、性差別につながります。

性差別、ジェンダー、セクシュアルハラスメントに関する資料



絵本／本

- ① 『ふたりのパパとヴィオレット』 ポット出版
- ② 『ふたりママの家で』 サウザンブックス社
- ③ 『LGBT とキリスト教 20 人のストーリー』 日本キリスト教団出版局
- ④ 『ジェンダー論をつかむ』 →→古典です。初版は 2013 年、現在第 9 刷 2020 年
千田有紀・中西祐子・青山薫著 有斐閣
- ⑤ 『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』 ユネスコ編 明石書店
- ⑥ 『日本におけるキリスト教フェミニスト運動史：1970 年から 2022 年まで』
富坂キリスト教センター編 新教出版社
- ⑦ 『性の多様性って何だろう?』 渡辺大輔 著 平凡社
- ⑧ 『はじめて学ぶ LGBT 基礎からトレンドまで』 石田 仁 著 ナツメ社

漫画

- ① 『きのう何食べた?』 よしながふみ作 原作は漫画、DVD もある。映画化されています。
- ② 『にがくてあまい』 小林フミヲ作 →→ドラマ化、映画化されてます。

映画

- ① 『17 歳の瞳に映る世界』 監督：エリザ・ヒットマン ベルリン国際映画祭銀熊賞
- ② 『ミッドナイトスワン』 監督・脚本：内田英治 ゴールデン・マルベリー賞

～性差別問題について、さらに理解を深めたい人のために～

九州教区伝道センター平和・人権部門は、各地区で性差別問題学習会を開催しています。

セクシュアル・ハラスメント学習会への講師派遣についても、随時受け付けています。

参加者が少なくても構いません。ご遠慮なく平和・人権部門までご連絡下さい。

2019 年 5 月の教区総会において、セクシュアル・ハラスメント対策研修会を今後 3 期（2019 年
年度～2024 年度）のうちに全地区で開催することが決まりました。

各地区で行われる研修会に参加し、ご一緒に学びを深めて行きましょう。